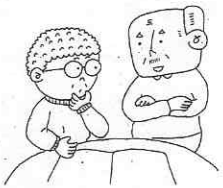

おはよう
ニュース問答

生活保護を「監視」する条例は必要なの？

敬三　ニュースで見たけど、街の監視カメラは犯罪容疑者の足取りを、よくとらえてるね。

藤乃　犯罪捜査に監視カメラは有効みたいね。

敬三　そうはいっても、監視は気分よくないよ。

藤乃　監視といえば、兵庫県の小野市で、生活保護や児童扶養手当を受けている家庭を周囲の市民に監視させる条例が議会に提出されたね。

敬三　パチンコや競輪、競馬などギャンブルに費やして生活に支障がでている受給者を発見したら役所にすぐ通報しろ、というものだね。

人権への侵害だ

藤乃　人権侵害よ。生活保護費の使い道は自由だと、最高裁の判決もいっている。

敬三　ただ、ギャンブルに保護費をつぎこむのは市民感情が許さないだろ。

藤乃　だったらギャンブルそのものを社会でどうするか考えるべきよ。庶民のささやかな楽しみといわれる一方、害悪も大きい。サッカーくじを宣伝し、カジノを解禁しようとするとか、政治や行政がギャンブルをあおりながら、生活保護の人だけ取り締まるのはおかしい。

敬三　でもギャンブルで身をもちくずすのはどうかなあ。

犯罪者扱いでは

藤乃　そういう人はギャンブル依存症かもしれない。適切な治療や生活を立て直す施策を講じるべきよ。それをせずに条例で、監視して警察OBに調査させるなんて、まるで犯罪者扱いじゃない。

敬三　そうだな。福祉の担当職員が親身に面倒を見ていれば、ギャンブルにおぼれることはないはずだ。

藤乃　小野市は生活保護120世帯に対して担当する職員は3人。しっかり相談に乗っているようだから、条例を作る根拠はないよ。

敬三　条例案は、生活保護バッシングや政府の制度改悪に悪乗りしたのかな。根底には生活保護利用者への差別や偏見があるのかもしれない。

藤乃　条例ができたら、監視が怖くて制度が利用できなくなっちゃう。結果的に生活保護の利用抑制になる。全国の先例になったら大変。

敬三　他の福祉給付制度にも適用されたら困るね。条例案は撤回させなきゃ。

（2013・3・5（火））

生活保護世帯などへの「監視条例案」が問題になっている兵庫県小野市の市役所庁舎